

真の食料農業政策の確立

キヤノングローバル戦略研究所・研究主幹
農学博士 山下 一仁

農政の大御所石黒忠篤(1881～1960)

～真の農本主義

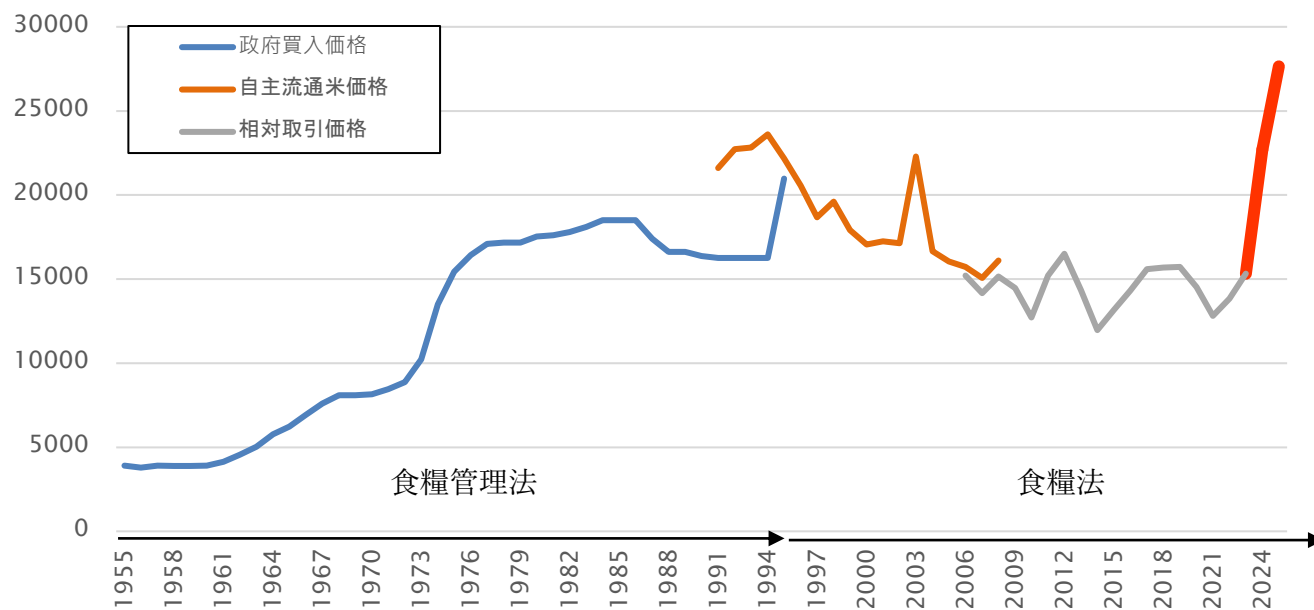


- ▶ (近衛内閣の農相として農民を前に) **農は国の本なり** **ということとは、決して農業の利益のみを主張する思想ではない。** 所謂農本主義と世間からいわれて居る吾々の理想は、そういう利己的の考えではない。
- ▶ **国の本なるが故に農業を貴しとするのである。**
- ▶ **国の本たらざる農業は一顧の価値もないのである。**
- ▶ 私は世間から農本主義者と呼ばれて居るが故に、この機会において諸君に、**真に国の本たる農民になって戴きたい、** ということを強請するのである。

史上最高値の米価！

コメ価格の推移

(円/60kg)



出所：1955～1994年は農林水産省「食料統計年報」、1995年～2007年は農林水産省「平成20年米の取引価格について」、2008年以降は農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

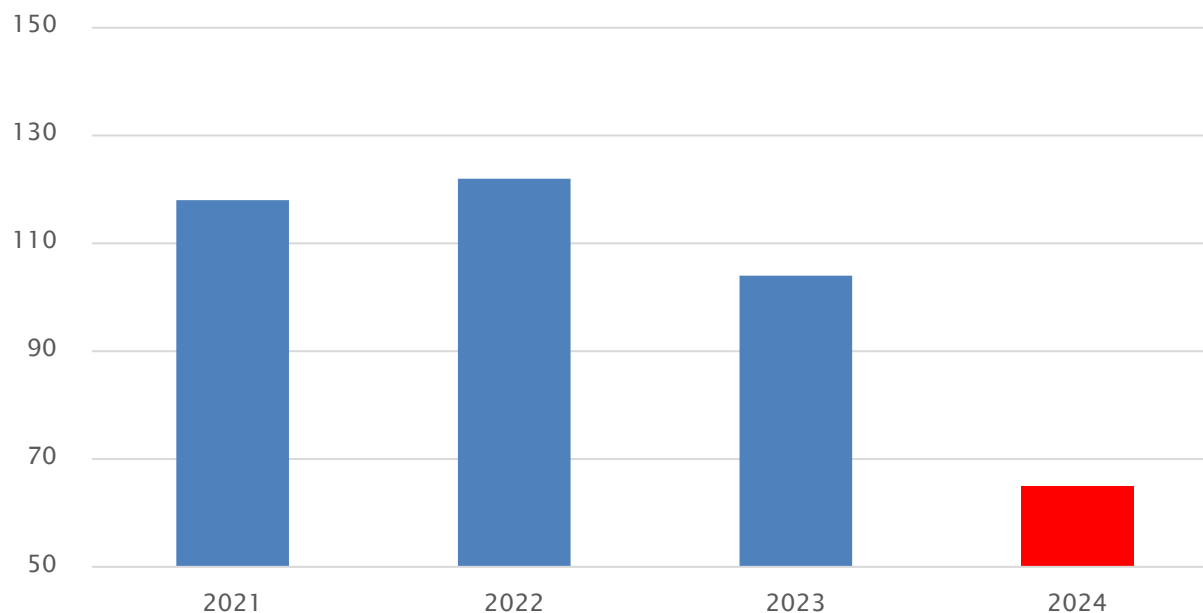
(注) 2025年については5月現在の価格

政府がコメを買い入れていた食糧管理制度の下でコメの過剰在庫に苦しんだ政府は、1969年から政府を通さないで全農等が卸売業者に販売するルート認めた。政府の保有在庫を減らそうとしたのである。これが“自主流通米”でコシヒカリ等政府を通じて流通するコメよりも食味の良いコメが流通した。

端境期の在庫

2021年から24年までの8月の民間在庫量の推移

万玄米トン



出所: 農林水産省「米穀の取引に関する報告」

米価高騰の根本原因と直接の原因

- ▶ 減反がなければ平成・令和のコメ騒動も起きなかった。
今回も1,000万トン生産して300万トン輸出していれば輸出量の調整で対応可能だった。
- ▶ 23年産米が減反強化▲10万トン＋猛暑による割れたコメや白いコメを流通過程から除くことで▲30万トン＝40万トン程度不足（消費量650万トン）⇒24年産米を先食い
- ▶ 農林水産省はコメ不足を認めず、備蓄米を放出すれば、供給が増えて米価は下がってしまう。流通業者が投機目的で隠していると虚偽の主張～「調べましたが、ありませんでした。」

深層にあるもう一つの大問題

～コメに卸売市場のような市場がない！

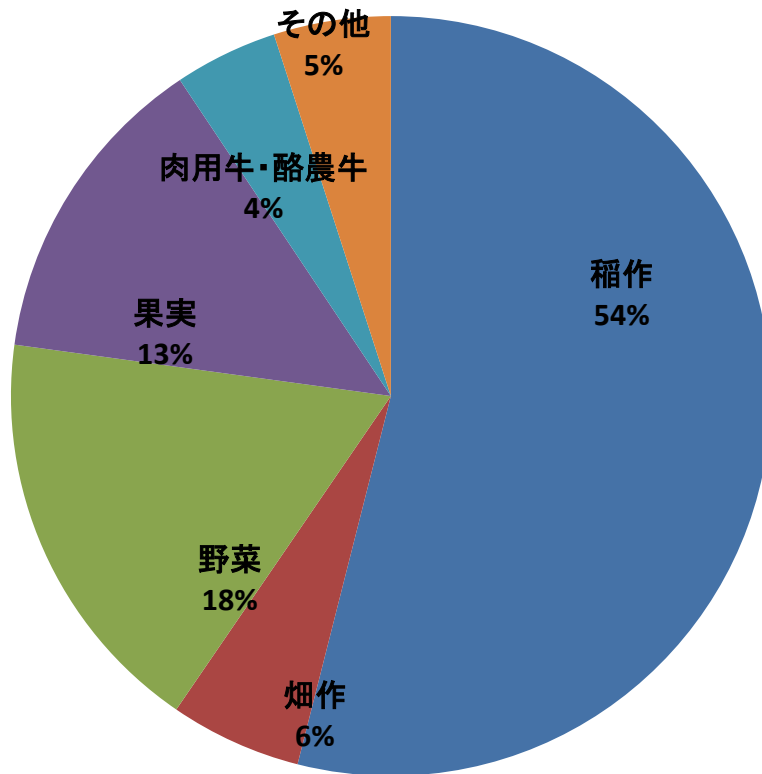
1. 世界最初の先物市場は大阪堂島米市場
1939年閉鎖、42年食管法95年同法廃止、2005年東西商品取引所が先物取引を申請、2011年の民主党政権でやっと試験上場認可、4度にわたり本上場不許可、**2020年廃止**
2. 2005年全農あきた事件（全国米穀取引・価格形成センターを米価操作に不正利用）→農協はセンターの利用停止、**相対取引に移行**→**2011年センター廃止**

適正な価格は**ありません**

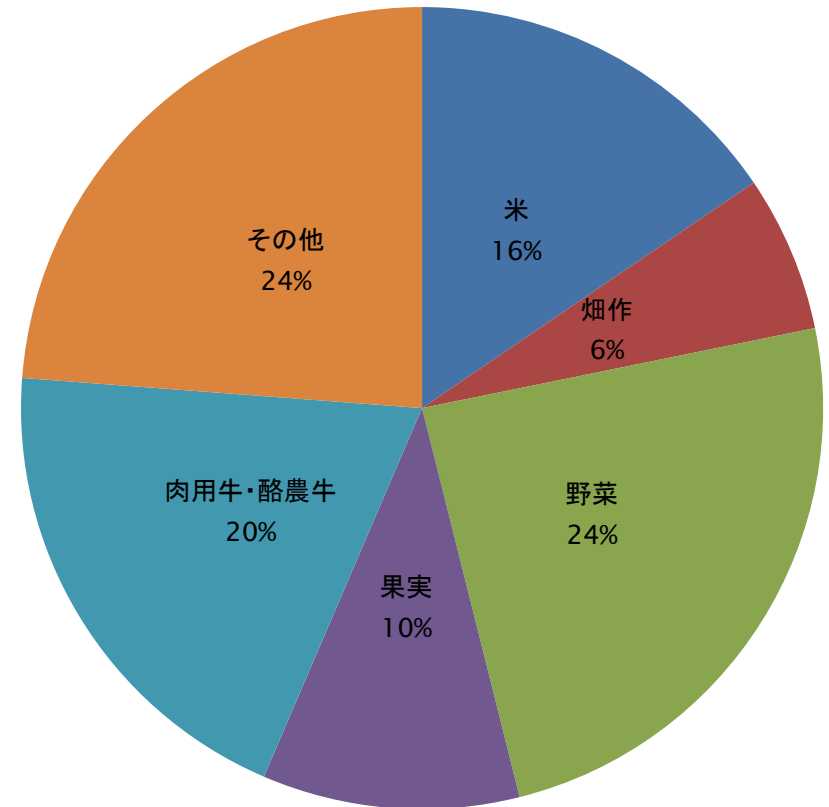
- ▶ 柳田國男は、農民を貧困から救うために活動。米価を上げて農家所得を増やすことは**貧しい国民消費者を苦しめるので断固として拒否**。関税を導入して米価を上げようとする**地主階級**や農学界の重鎮と激しく対決。
- ▶ 売り手である生産者は高い価格を、買い手である消費者は安い価格を望む。「国力其農政ノ大方針ヲ決セントスル際ニハ、何レノ時代ニシテモ何レノ国ニ於テモ常ニ国民中ヨリ二ノ異リタル希望ニノ相反スル注文ノ声ヲ聞ク、其一ハ農産物ノ価高シ故ニ今少シ安く買ハルゝ様ニシテ貰ヒタシトイフ注文ナリ、他ノ一ハ農産物ノ価安くシテ利益尠ナシ今少シ高く売レル様ニシテ貰ヒタシトイフ希望ナリ」
- ▶ **規模を拡大するなど生産性を向上させてコストを下げれば、価格を上げなくても生産者の所得は上がる。**
- ▶ われわれには**直接支払い**という政策がある。
- ▶ **適正な価格は需給のシグナルを伝える市場価格だ！**

日本農業最大の問題 コメ農家は多すぎます

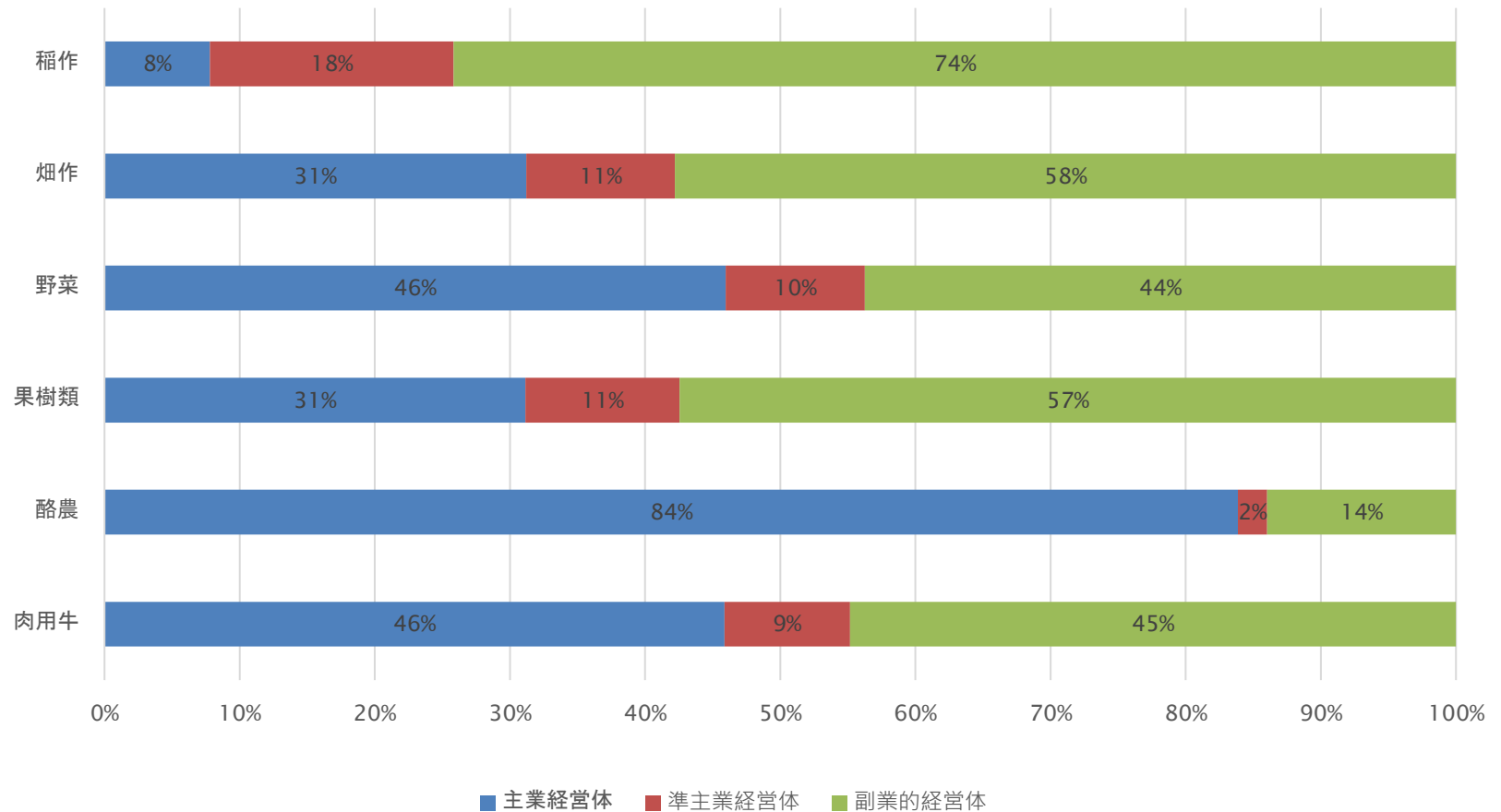
農業経営体の販売金額1位の部門の内訳(2022)



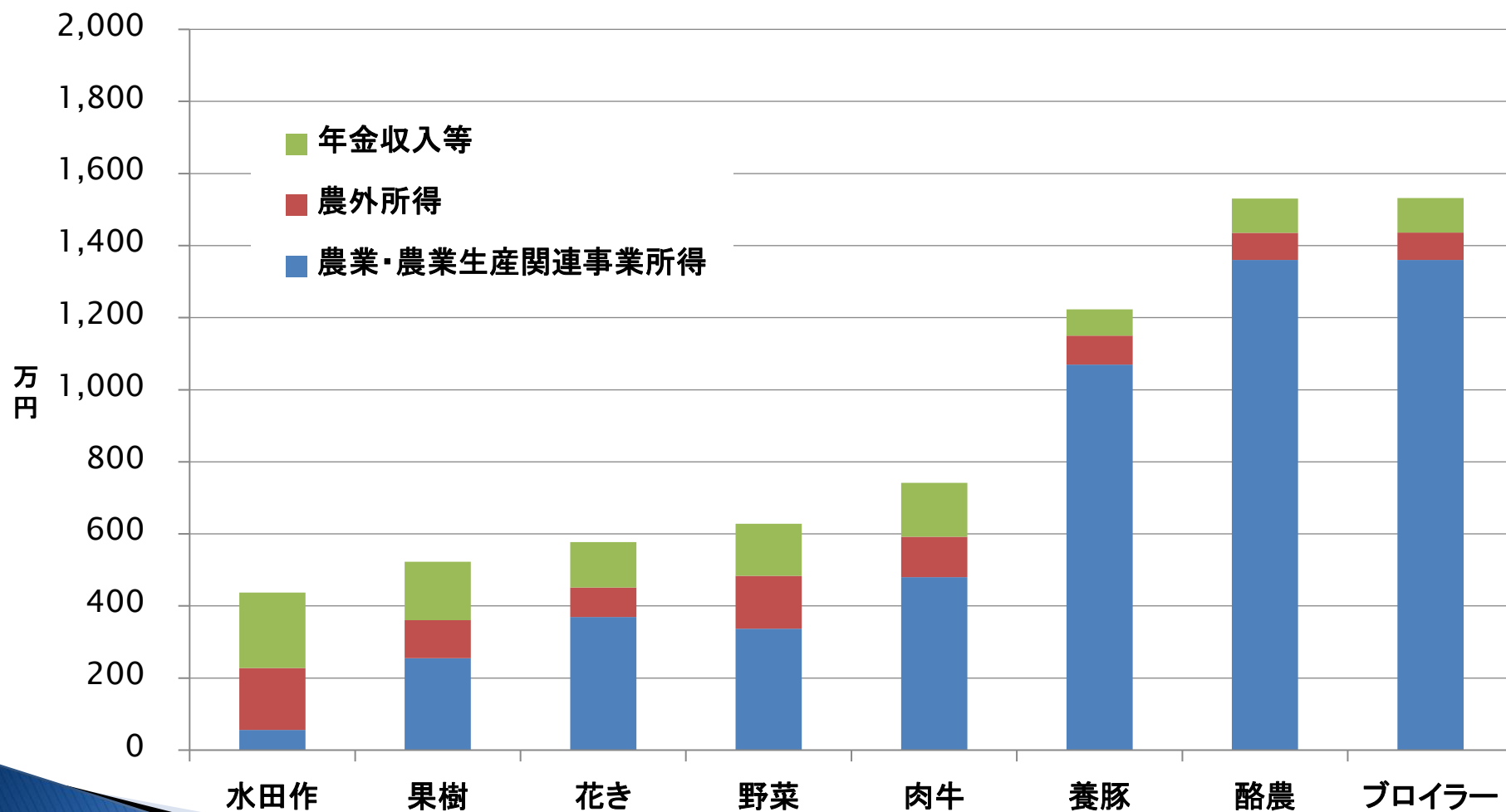
農業総産出額の内訳(2021)



各種農業の農家種類別構成(2022)



歪んだ米農業（2018）

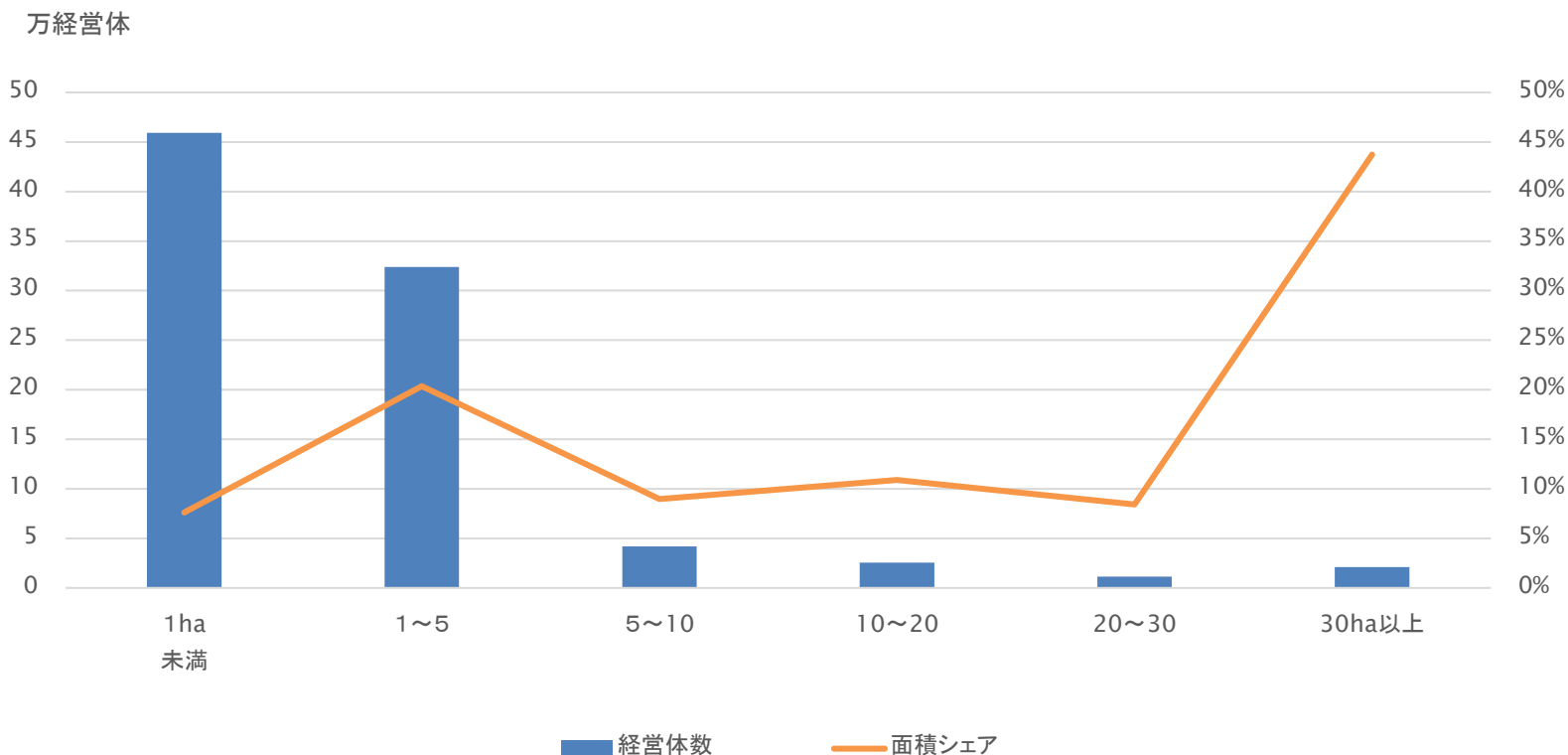


出所：MAFF 農業経営統計調査

農家は同じではない！

面積では、1ha未満8%、30ha以上44%

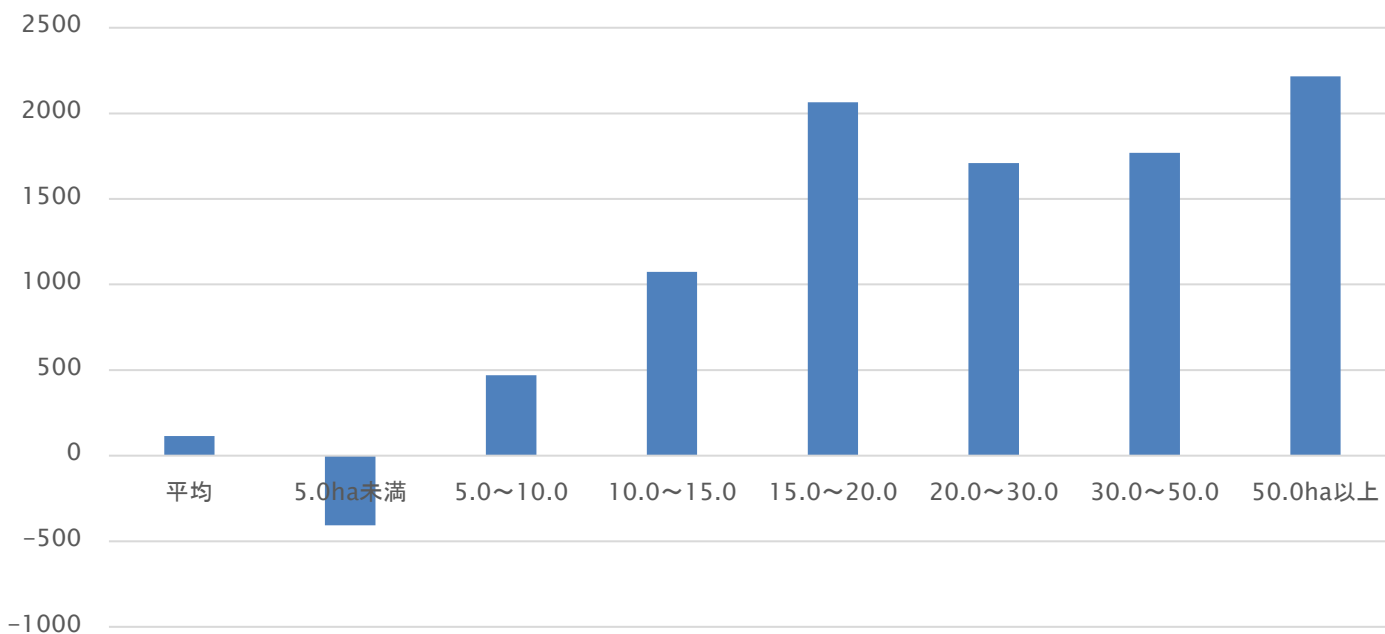
2024年の経営規模別農業経営体数と面積シェア



出所：農林水産省「令和6年農業構造動態調査」より筆者作成

コメ農家の時給は10円？

農家時給（農業所得 / 自営農業労働時間）

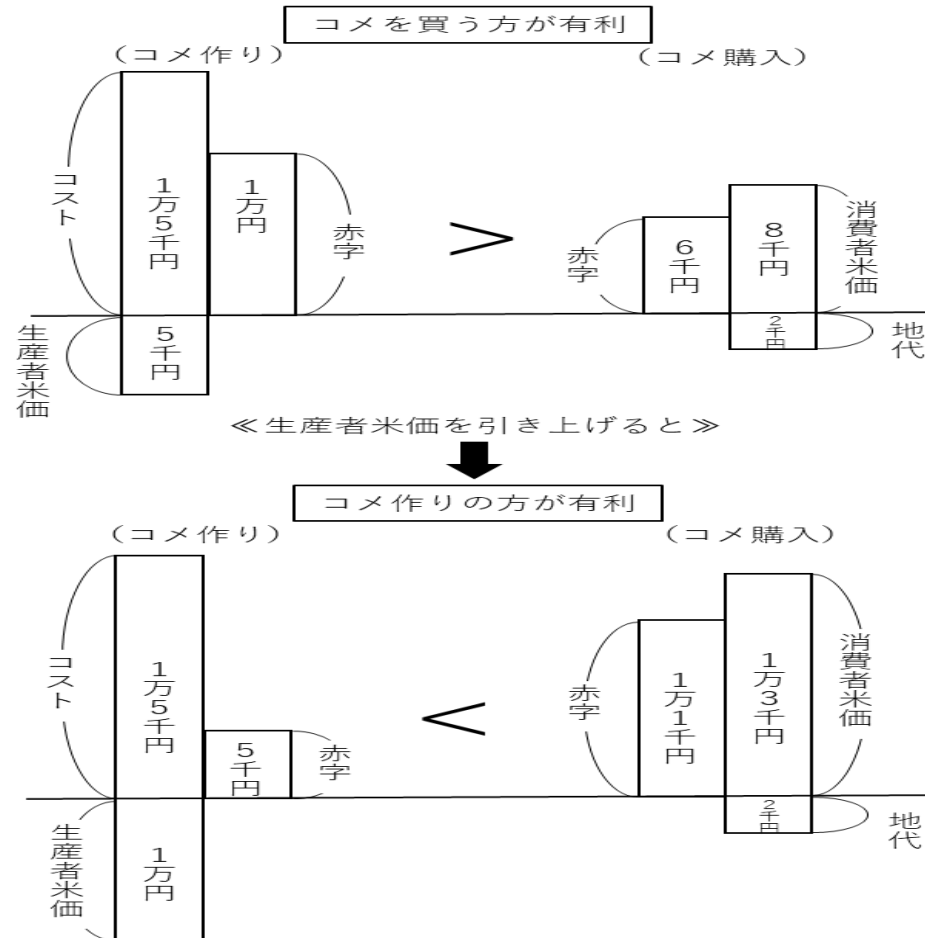


出所：農林水産省「令和5年度営農類型別経営統計」

注：横軸の単位はヘクタール、縦軸は円である。

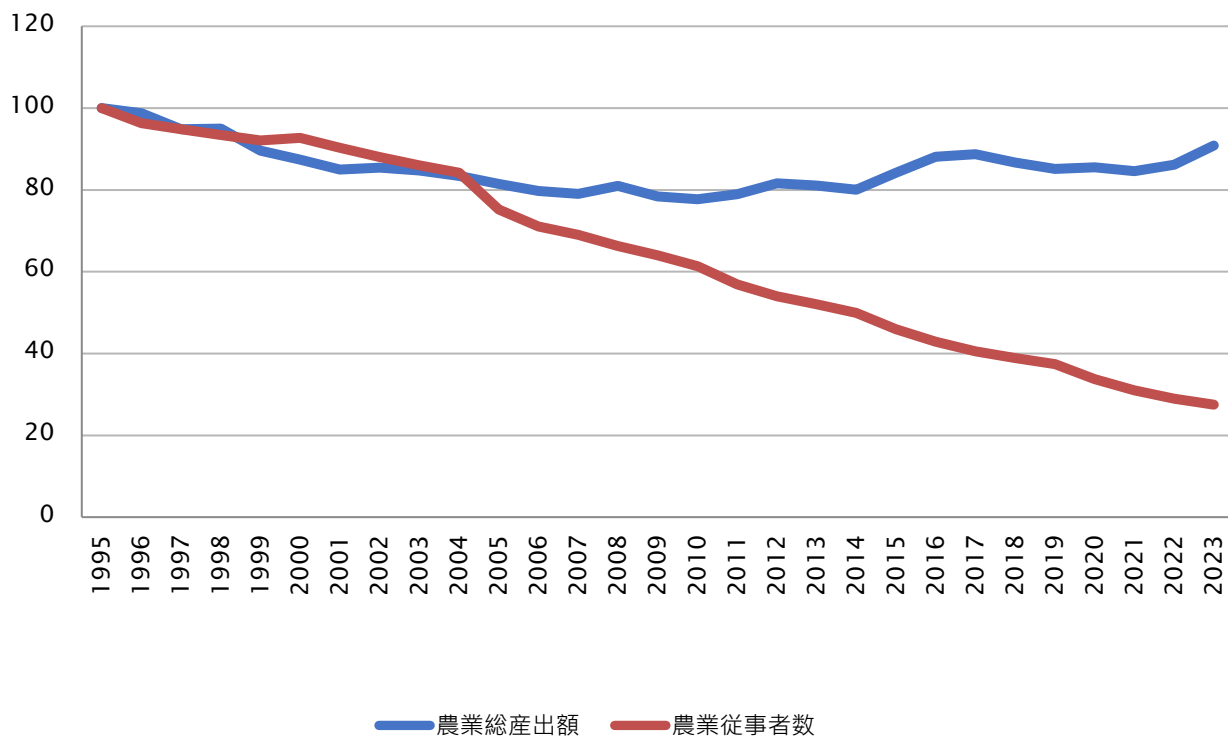
農家は国民のため赤字でもコメを作る？

零細農家が赤字でもコメを作る理由



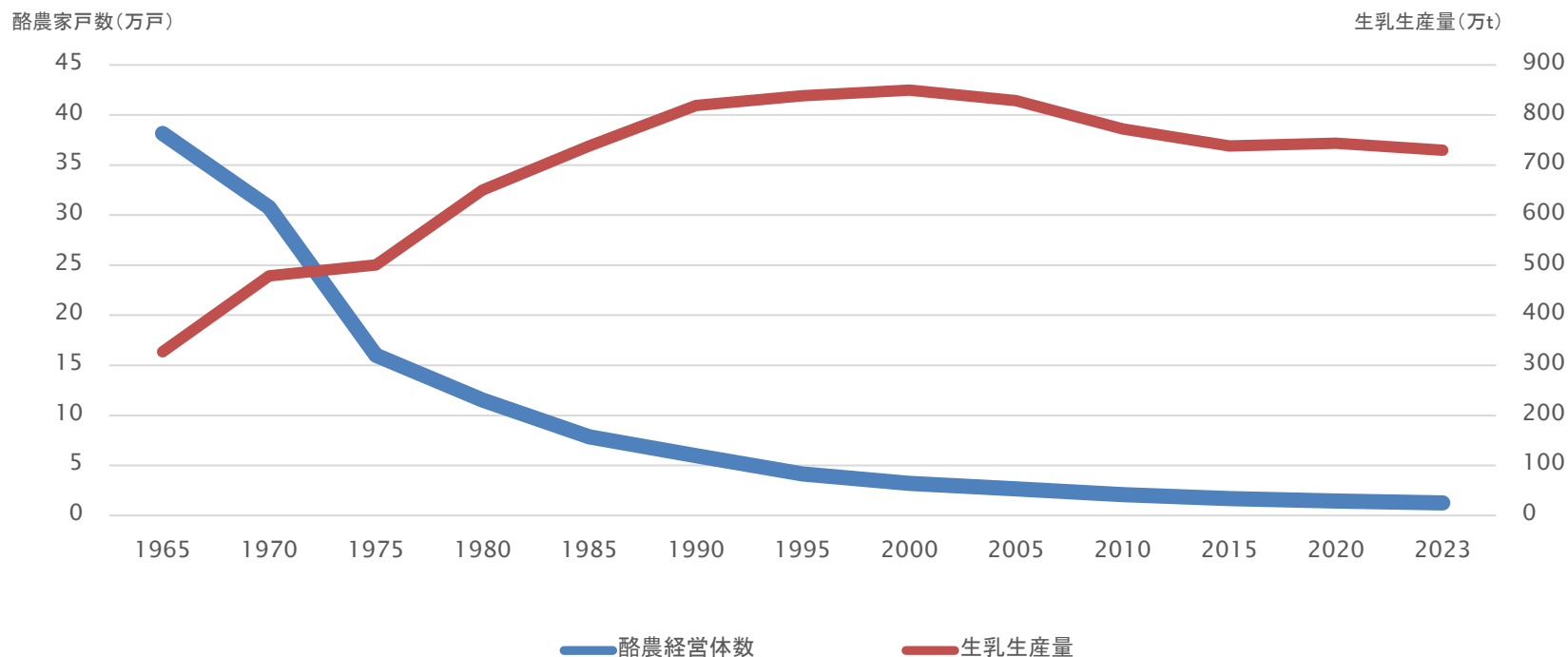
Nスぺ“農業従事者減少で食料供給不安”のウソ: 供給が足りないのになぜ減反するのか？

農業従事者数と生産額(1995年=100)



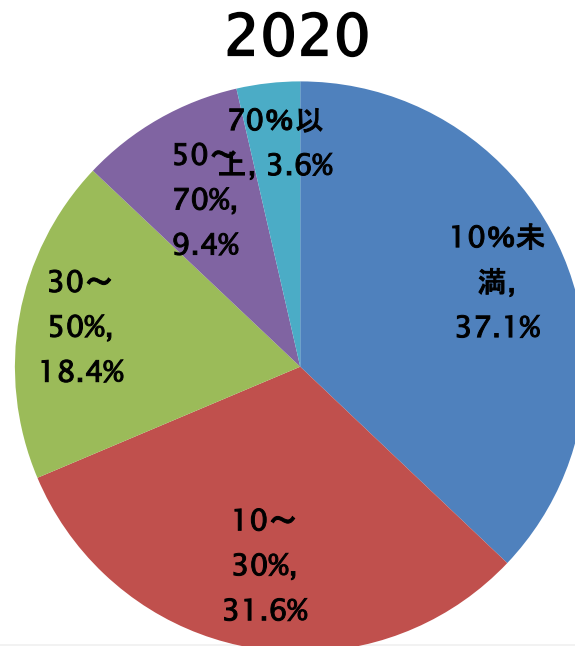
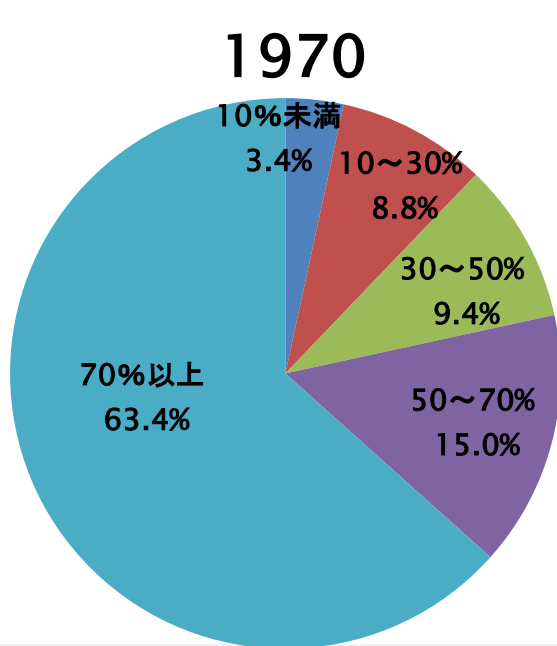
酪農家戸数は30分の1，生乳生産は2.2倍 (1965年から)

酪農家戸数と生乳生産量の推移



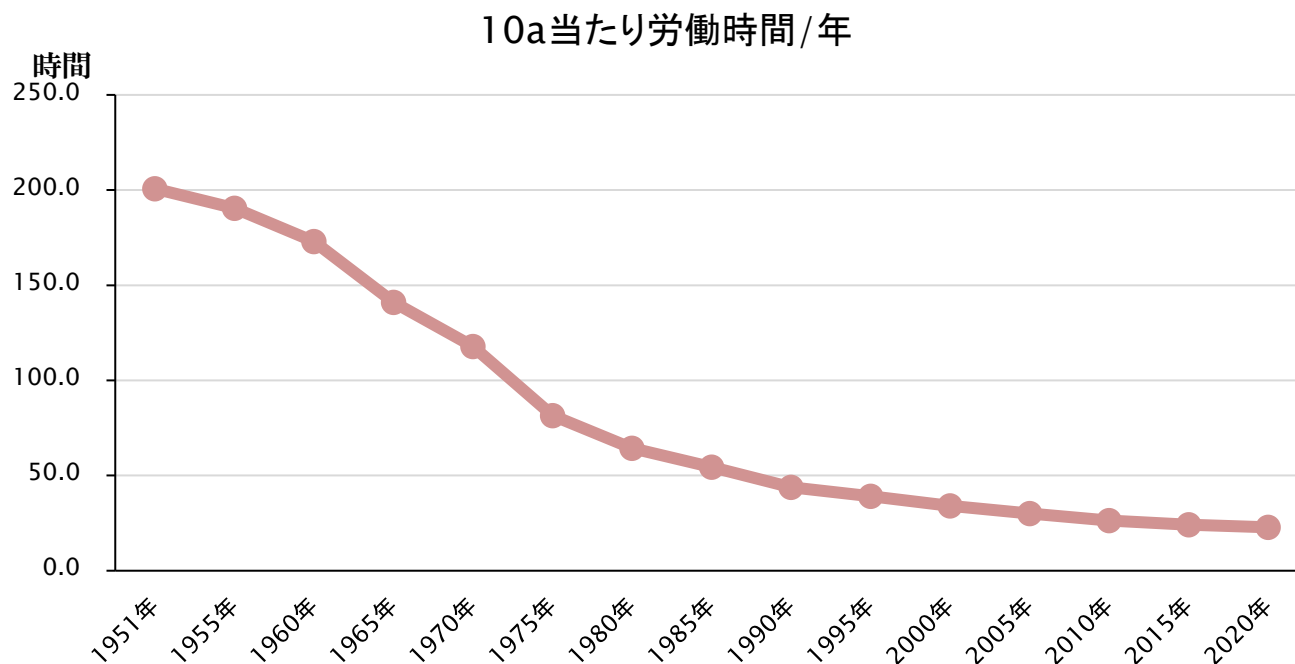
出所: 酪農家戸数は農林水産省「畜産統計」、生乳生産量は農林水産省「牛乳乳製品統計」

農村は変わった 農家率別集落数の内訳



農業は変わった

— もう米に八十八手間はかからない —

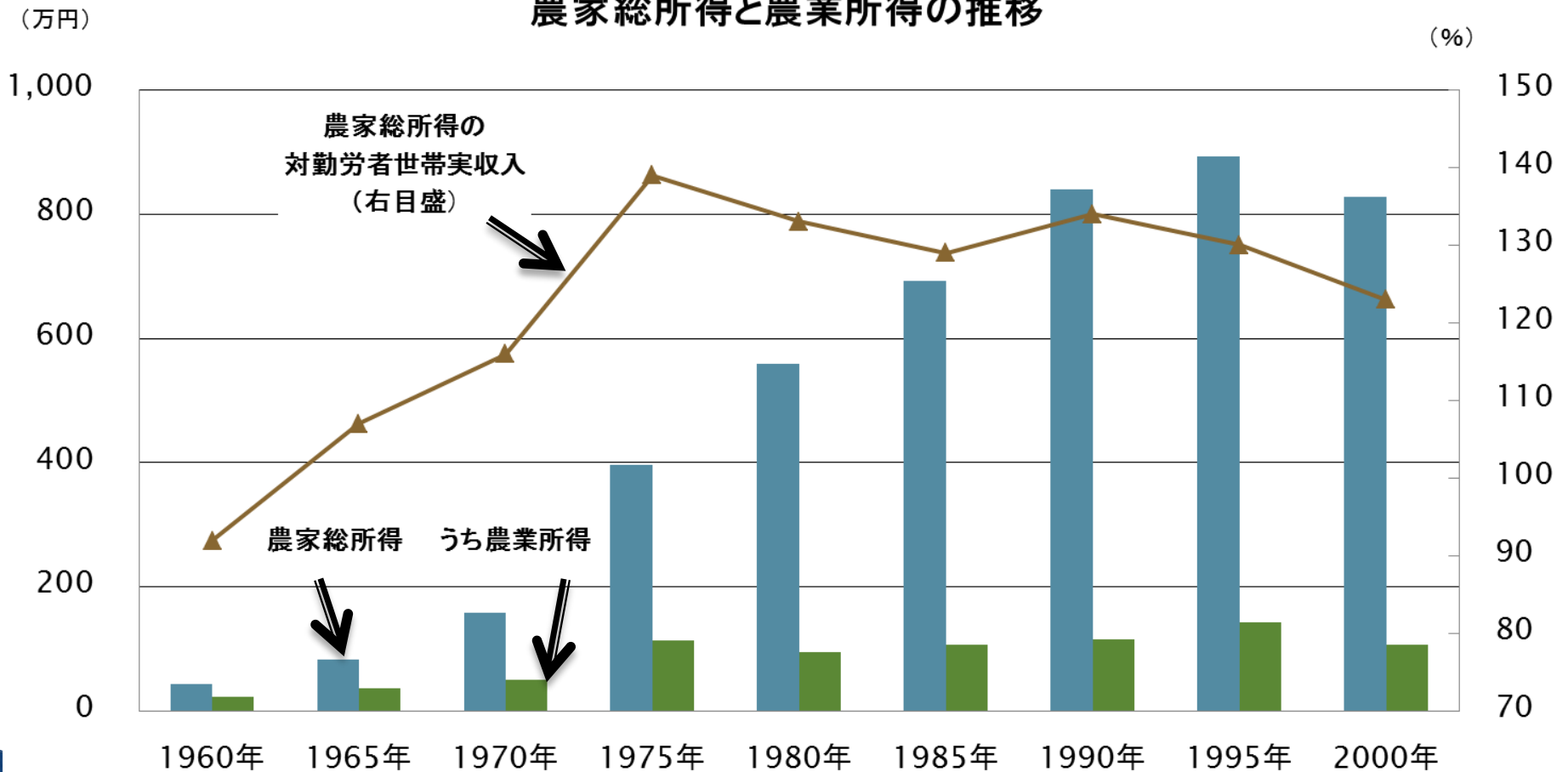


出所>農林水産省『農業経営統計調査』

1ヘクタールの米作に必要な農作業日数
1951年251日/年 ⇒ 2020年27日/年

「貧農層」は60年代終わりには消失 (農業経済史研究の暉峻衆三)

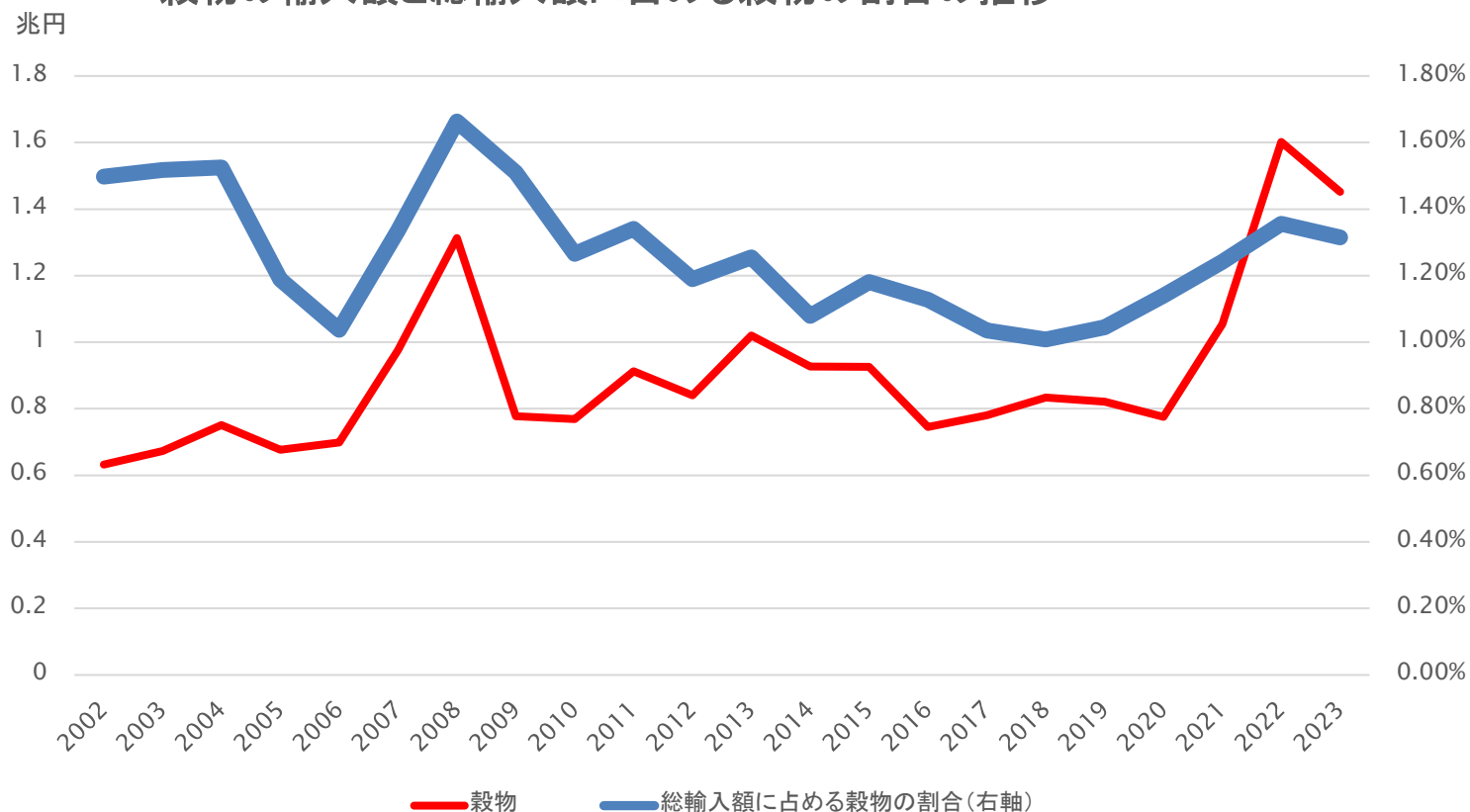
農家総所得と農業所得の推移



資料:「図説食料・農業・農村白書参考統計表 平成15年度版」、総務省「家計調査」

食料危機：日本が買い負ける？

穀物の輸入額と総輸入額に占める穀物の割合の推移



出典：財務省「貿易統計」

注：穀物は小麦、米、とうもろこし、大豆の合計値を使用

太平洋戦争アメリカ海上封鎖作戦

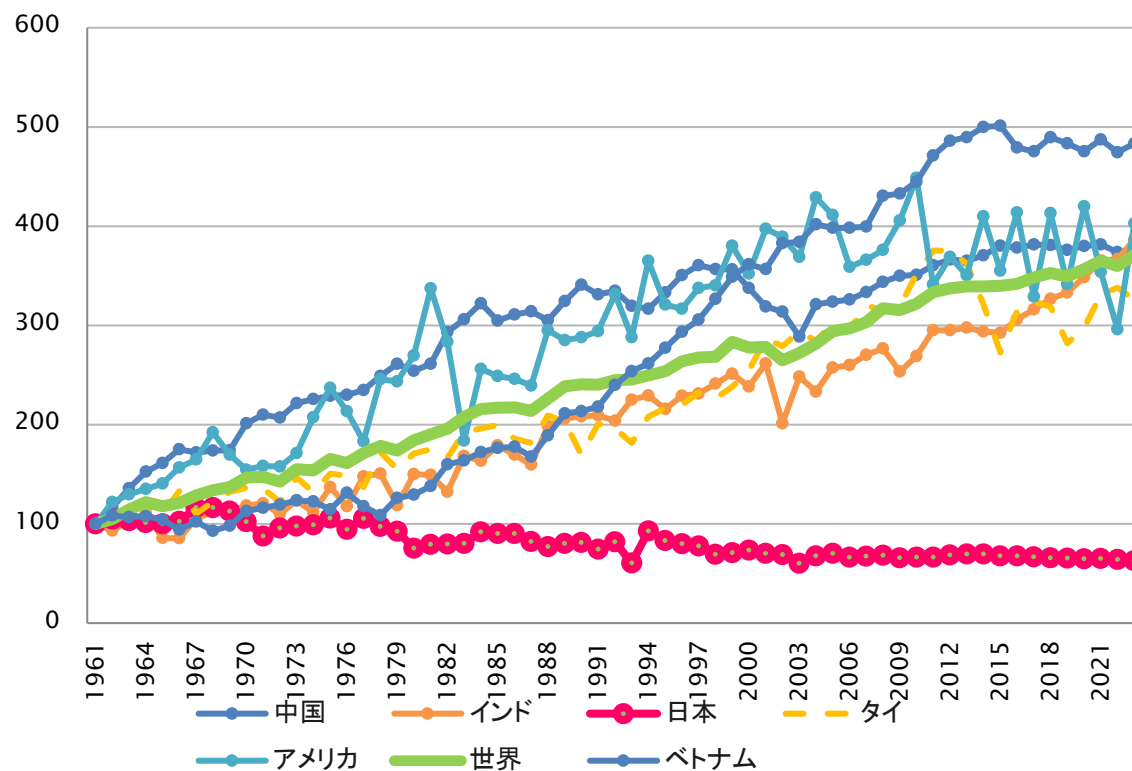
- ▶ 米騒動で国内の自給困難⇒植民地の米の増産により食料自給を達成(2割程度を移入)、過剰となり農林省は減反を提案(**減反案を潰したのは誰?**) ⇒1939年朝鮮等で大不作、その後も移入は回復せず、**過剰から不足** ⇒**タイ等より米輸入** ⇒42年食糧管理法による配給制
- ▶ **アメリカは潜水艦で輸送船を撃沈**、終戦時深川の政府倉庫には東京都民の3日分の米しかない⇒ポツダム宣言受諾
- ▶ 「戦時食料政策は**2合3勺維持のための血みどろの戦い**、麦、いも類を含めての名目2合3勺となり、20年8月**2合1勺に引き下げられた時戦力形成の基盤は決定的に破壊された**」



世界の米生産3.7倍、日本▲40%

中国の生産は、米4倍、大豆3倍、小麦9倍、トウモロコシ14倍に増加

コメ生産量推移
(1961年=100)



安全保障を脅かす減反農政



- ▶ **ロシアはなぜキーウを陥落できなかった？**
- ▶ 水田を水田として利用するからこそ、水資源の涵養や洪水防止の**多面的機能**、**食料安全保障**に必要な水田を確保
- ▶ しかし、**米の生産調整（減反）**は**水田を水田として利用しないことに補助金**。
- ▶ **減反は50年も続き & 水田面積の4割に及ぶ**～世界で日本だけ
- ▶ 米生産1,445万トン（1967年）⇒670万トン、
- ▶ **国民は補助金を払って高い米価を払う**

台湾有事⇒食料も危機



- ▶ 輸入途絶したら、輸入の小麦、牛肉、チーズも、輸入穀物の加工品の国産畜産物も食べられない、
- ▶ 終戦後の米だけの食生活。配給米（2合3勺）→125百万人で1,600万トン必要
- ▶ 減反廃止で水田完全米作+単収増加→1700万トン（国内700万トン+輸出1000万トン）
- ▶ 平時の輸出は無償の食料備蓄

途上国に大きな迷惑をかけた過去

- ▶ 平成の米騒動: 1993年の▲26%米不作の時、1千5百万トン程度の薄い米国際市場で260万トンの米を買い付け、国際価格は2倍に高騰、貧しい途上国の人を苦しめた。**この時は輸入に助けを求めた！**
- ▶ 輸入したタイ米や中国米を国民は食べようとせず、大量の売れ残り。

減反廃止で世界の食料安全保障に貢献

- ▶ 米の輸出国は、インド(1~2千万トン)、ベトナム、タイ(各6~8百万トン)
- ▶ 世界全体でも、生産に占める輸出の割合は、小麦25%、大豆47%に対し、米は7%。輸出量も、小麦2億トンに対し5千万トン。**わずかの生産減で米の輸出・貿易量は大幅縮小**。途上国なので**輸出制限**する
- ▶ 日本が米を1000万トン輸出すると世界の食料安全保障に貢献。危機時には輸出していたものを食べる。輸出は金のかからない備蓄「**情けは人のためならず**」

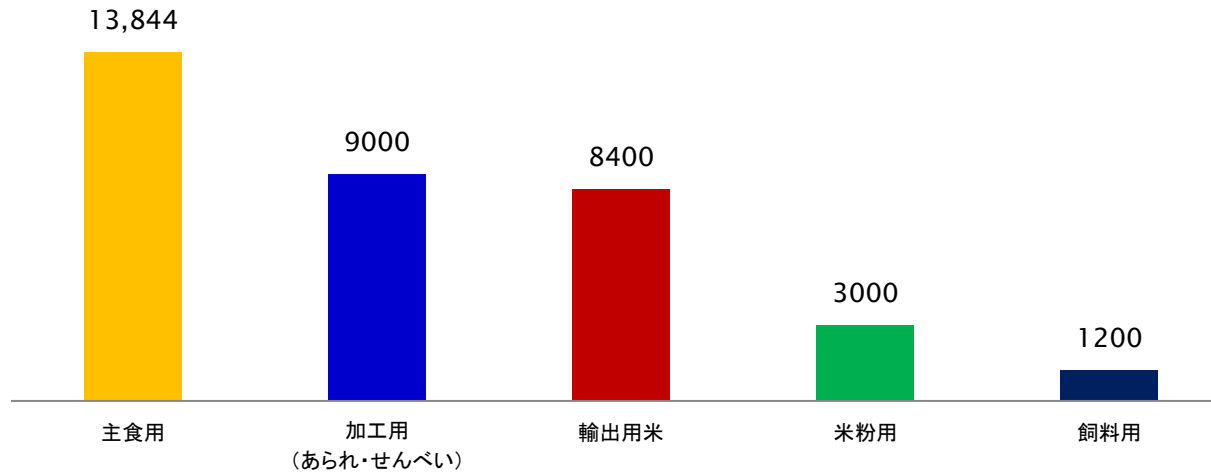
コメをコメの転作作物（価格差＝減反補助金）

一物多価による不正（汚染米事件）

WTO違反の輸出補助金：4万円/10a＝5千円/60kg

コメの用途別価格

（単位：円/60kg玄米）



出所：農林水産省「米に関するマンスリーレポート」「米をめぐる状況について」、山形県農林水産部「米粉用米について」

注：主食用の2023年産以降の価格は異常価格のため、22年産の平均価格を採用した。主食用米、加工用米（あられ・せんべい）、輸出用米、飼料用米は山形県農林水産部「米粉用米について」に記載している数値、米粉用は農林水産省「米をめぐる状況について」に記載される、原料価格に記載してある企業購入価格（平均値）を使用した。

減反を推進する農林水産省は憲法違反

- ▶ 減反補助金を負担する納税者
 - ▶ 高米価を強いられる貧しい消費者(逆進性)
 - ▶ 取扱量が減少して廃業した中小の米卸売業者
 - ▶ 零細農家が滞留して規模拡大できなかった主業農家
 - ▶ なにより輸入途絶時に十分な食料を供給されない国民
-
- ▶ **農林水産省は「すべて公務員は、全体の奉仕者であつて、一部の奉仕者ではない」(日本国憲法第15条第2項)に違反**

精神面からも農業崩壊



- ▶ 第一次農地改革の担当課長だった東畑四郎の発言
- ▶ 「**地価が暴騰したということと、米が過剰で作付転換や休耕をやったこと**、この二つが私らのいう古い時代の**「農」の心を荒廃させました**な。土地も荒廃したけれど、より以上に農の心を荒廃させてしまい、これがまた農業蔑視論といいますか、自ら農業というものを蔑視するという気持ちを強くした。…どの先進国を歩いても、農業をやっている人が農業を蔑視する思想はあまりありませんよ。ところが**日本はどうも、農外の所得がいいのかどうか知らないけれど、カネ中心となってしまう、…農民自体が農業を蔑視しているのではないかと疑いたくなることが多い。**」

農政の国際比較

項目 \ 国	日本	アメリカ	E U
生産と関連しない直接支払い	×	△	○
環境直接支払い	△（限定した農地）	○	○
条件不利地域直接支払い	○	×	○
減反による価格維持＋直接支払い（戸別所得補償政策）	●	×	×
1000%以上の関税	こんにゃくいも	なし	なし
500－1000%の関税	コメ、落花生、 でんぷん	なし	なし
200－500%の関税	小麦、大麦、バター、 脱脂粉乳、豚肉、 砂糖、雑豆、生糸	なし	バター、砂糖 （改革により 100%以下に引 下げ可能）

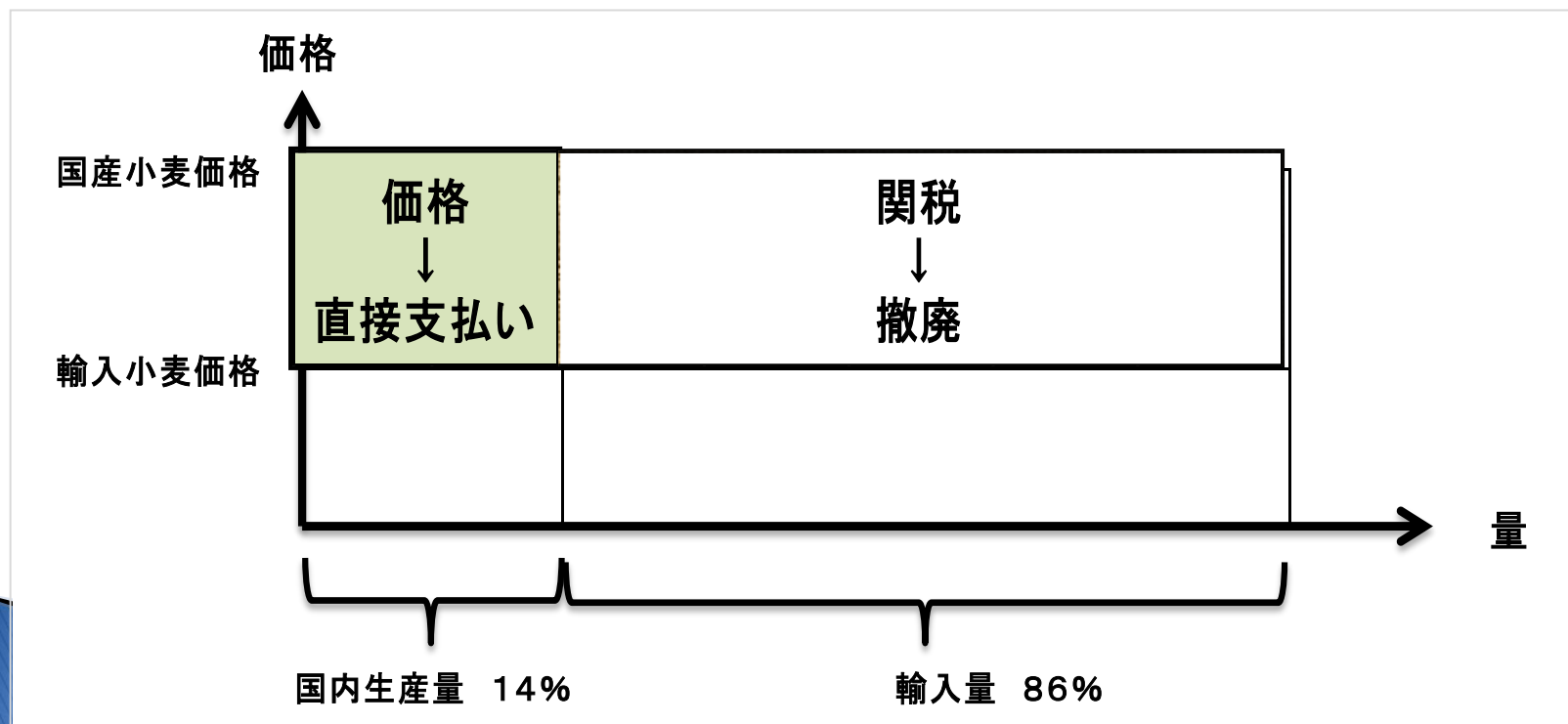
（注）○は採用、△は部分的に採用、×は不採用、●は日本のみ採用

関税は国益？ 逆進性の塊の農業政策



関税を撤廃すると膨大な財政負担が生じるのか？

⇒ “膨大な財政負担”という主張は今“**膨大な消費者負担**”を
させているというのと同義



柳田國男～関税か構造改革か～



旧国（日本）の農業のとうてい土地広き新国（アメリカ）のそれと競争するに堪えずといふことは吾人がひさしく耳にするところなり。

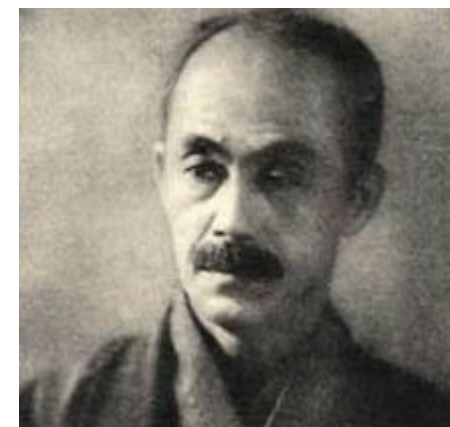
然れども、**之に対しては関税保護の外一の策なきかの如く考ふるは誤りない。**

吾人は所謂**農事の改良**を以て最急の国是と為せる現今の世論に対しては、極力雷同不和せんと欲するものなり。

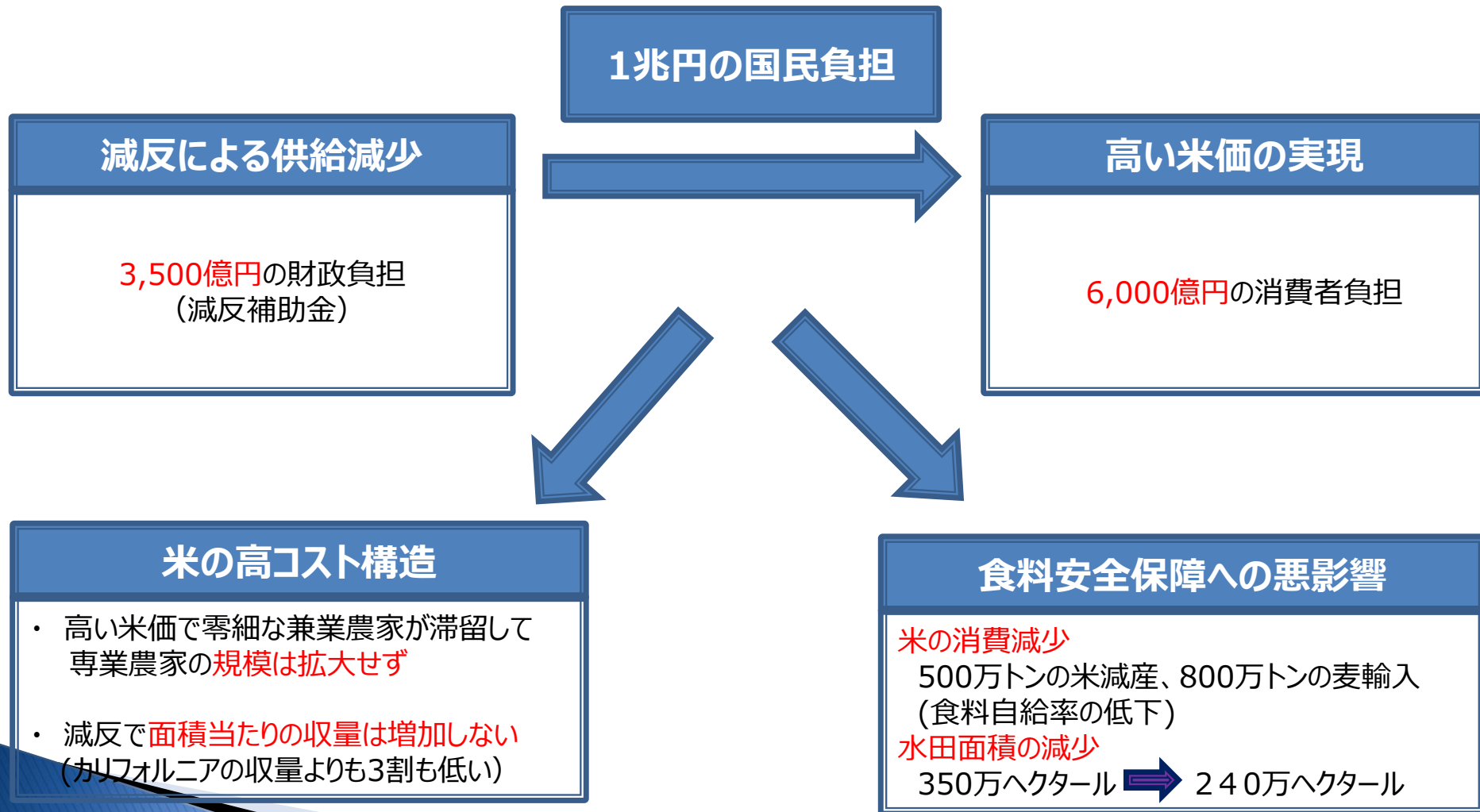
僅々三四反の田畑を占有して、半年の飯米に

齟齬する**細農**の眼中には、**市場もなく貿易もなし、**

何の暇ありてか世界の太勢に覚醒し、農事の改良に奮起することを為さん



コメ農政の構図

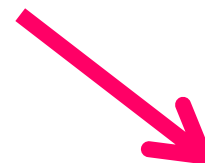


所得 = 売上額（価格 × 生産量） - コスト

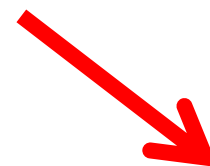
コストダウンの方法



トン当たりのコスト



コスト/ヘクタール

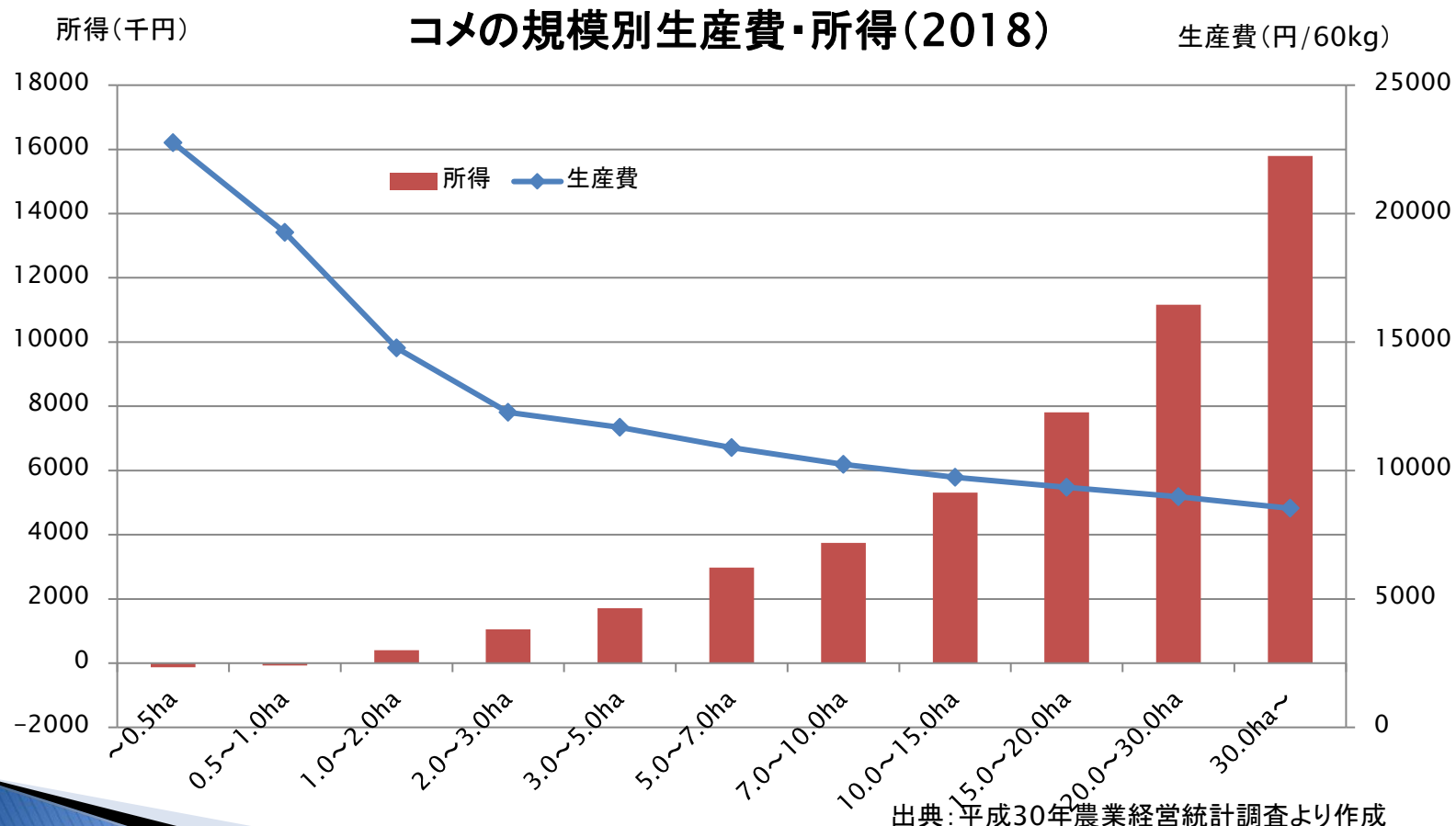


=

収量/ヘクタール

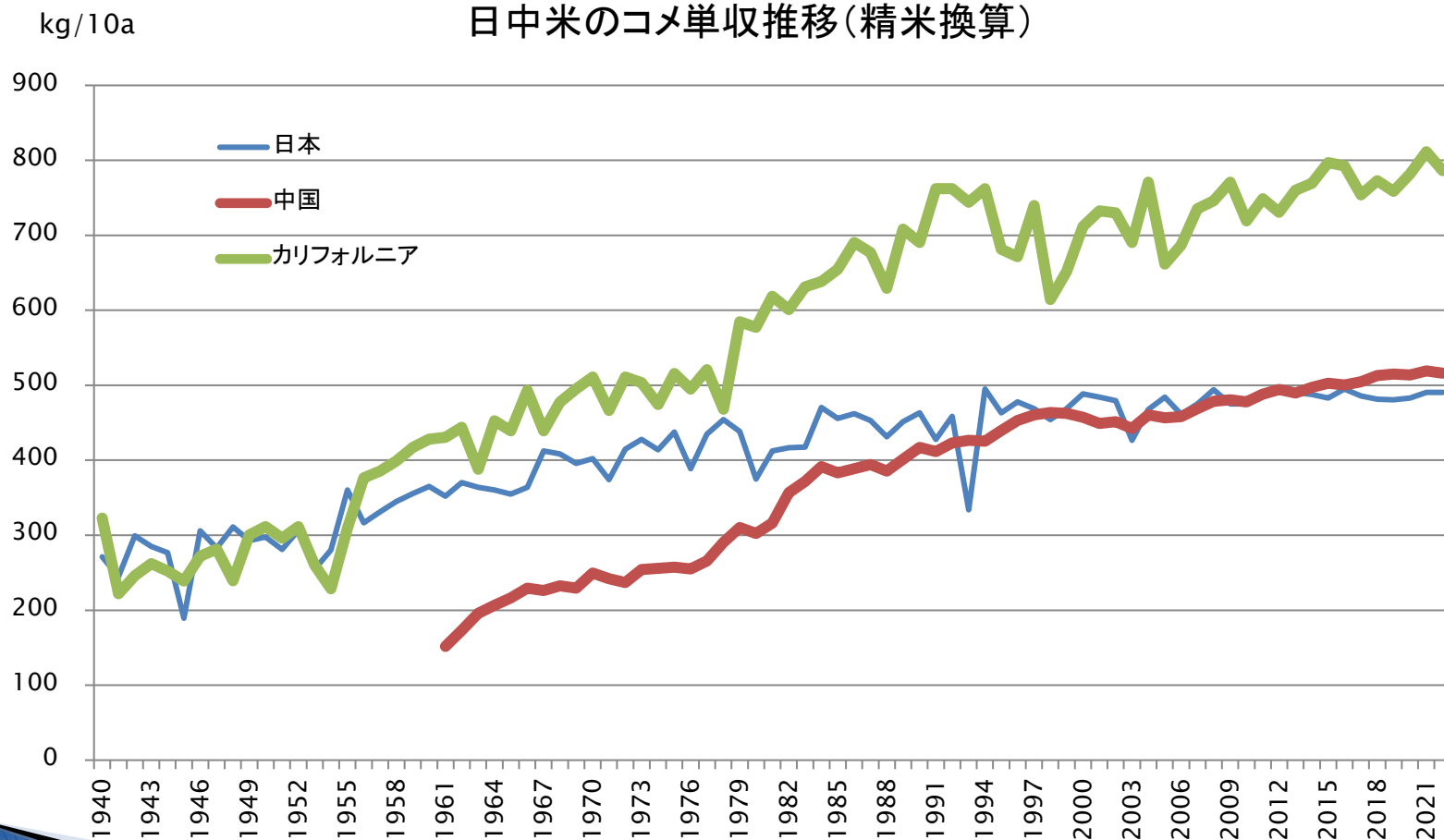


規模が大きくなるとコストは下がり所得は上昇



減反で**単収**（生産性） 向上停滞

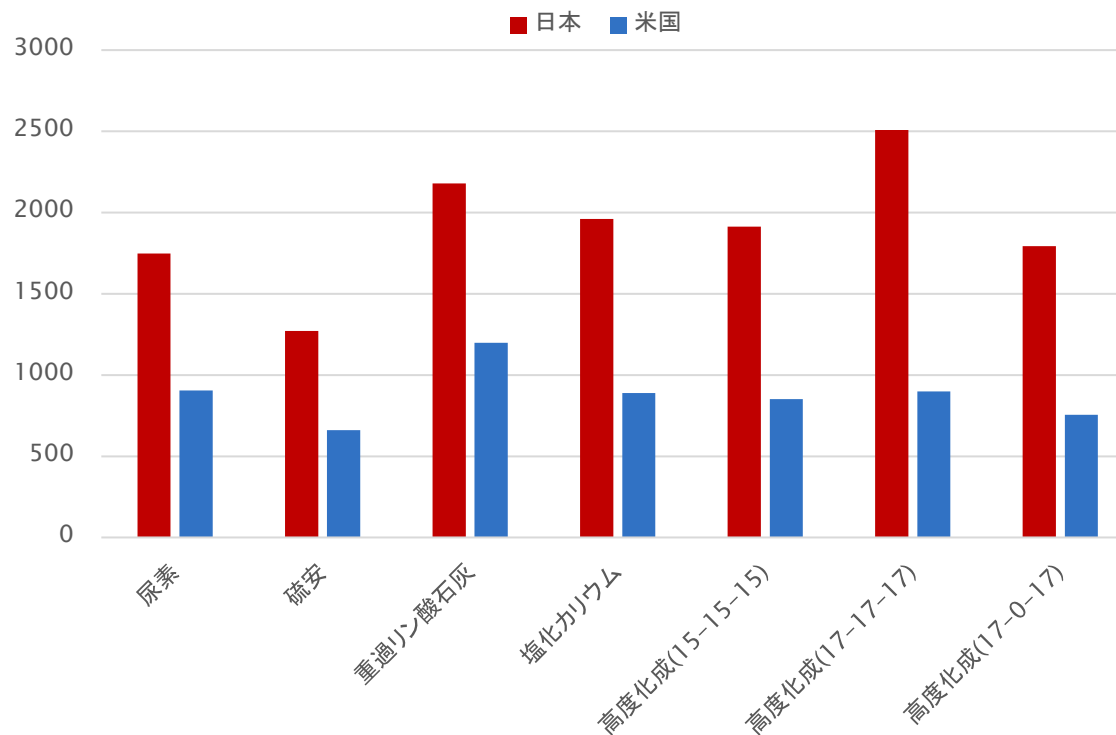
中国にも抜かれる！！



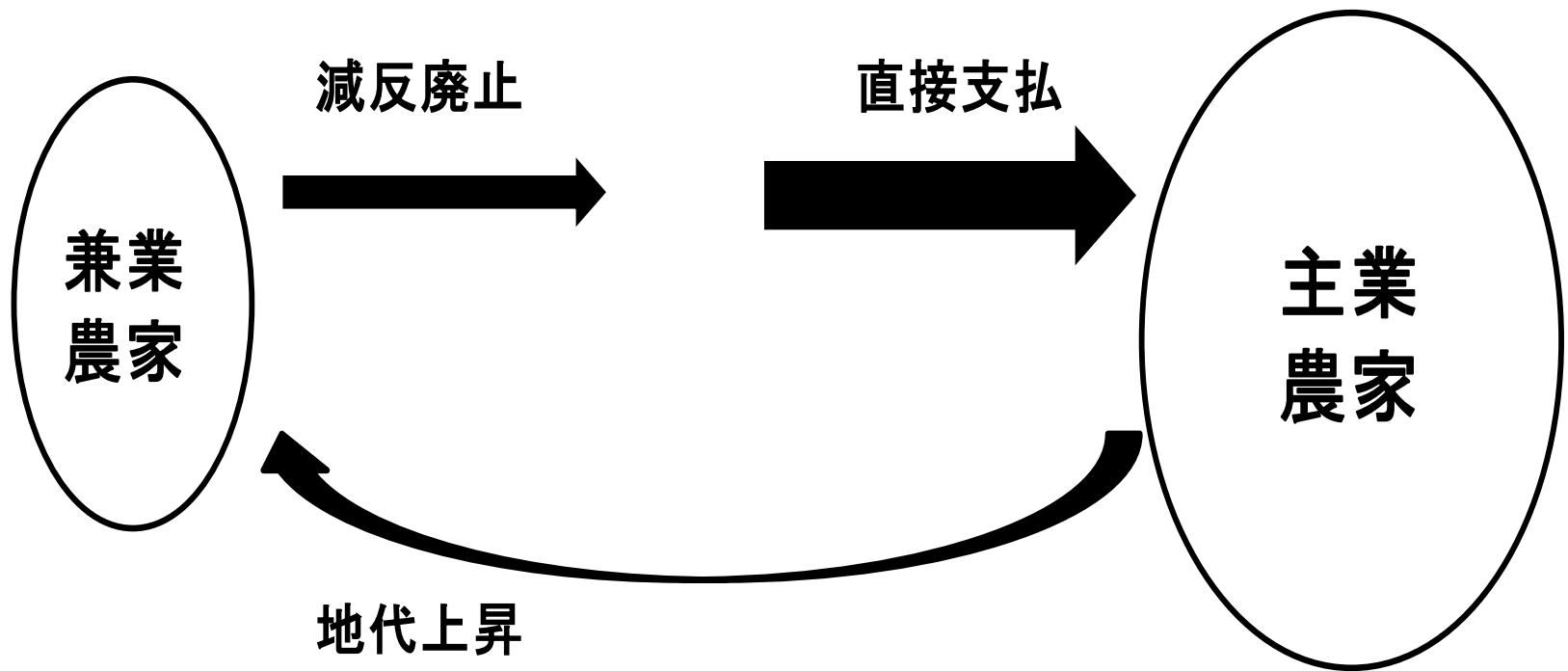
出典: FAOSTAT, USDA, 農林水産省「作況調査」より筆者作成

高コスト要因

肥料価格の内外格差



米政策の改革案



全ての人が幸せになります

- ▶ 減反を廃止すれば米価は下がり消費者に利益。
- ▶ 零細な兼業農家は農地を主業農家に貸し出す。主業農家に限って直接支払いをすれば、その地代の負担能力が上がって農地は主業農家に集積。主業農家の規模拡大によりそのコストが下がり収益が増加すれば、地主となった元零細農家の地代収入も増加。
- ▶ 減反廃止により抑制されてきたコメの面積当たりの収量が増加すれば、コストはさらに低下（消費者は利益）＋コメの生産・輸出量は増加し、我が国の食料安全保障に貢献する

構造改革による明るい農村



- ▶ 都府県の平均的な農家である1ha未満の農家が農業から得ている所得は、トントンかマイナス。ゼロの米作所得に、20戸をかけようが40戸をかけようが、ゼロはゼロ。しかし、20haの農地がある集落なら、1人の農業者に全ての農地を任せて耕作してもらうと、1,500万円の所得を稼いでくれる。これをみんなで分け合った方が、集落全体のためになる。
- ▶ 大家への家賃が、ビルの補修や修繕の対価であるのと同様、農地に払われる地代は、地主が農地や水路等の維持管理を行うことへの対価。地代を受けた人は、その対価として、農業のインフラ整備にあたる農地や水路の維持管理の作業を行う。地主には地主の役割がある。
- ▶ 健全な店子（担い手農家）がいるから、家賃でビルの大家（地主）も補修や修繕ができる。このような関係を築かなければ、農村集落は衰退するしかない。農村振興のためにも、農業の構造改革が必要。
- ▶ 2011年3月、農協は「農業復権に向けたJAグループの提言」で、これと同旨の主張を行った。

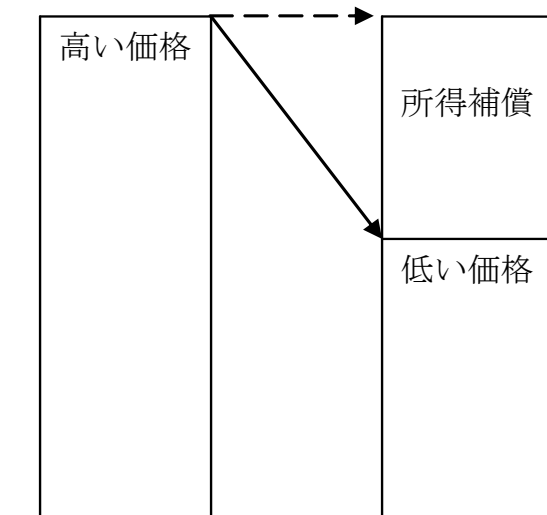
食料自給率は70%に上げられます！



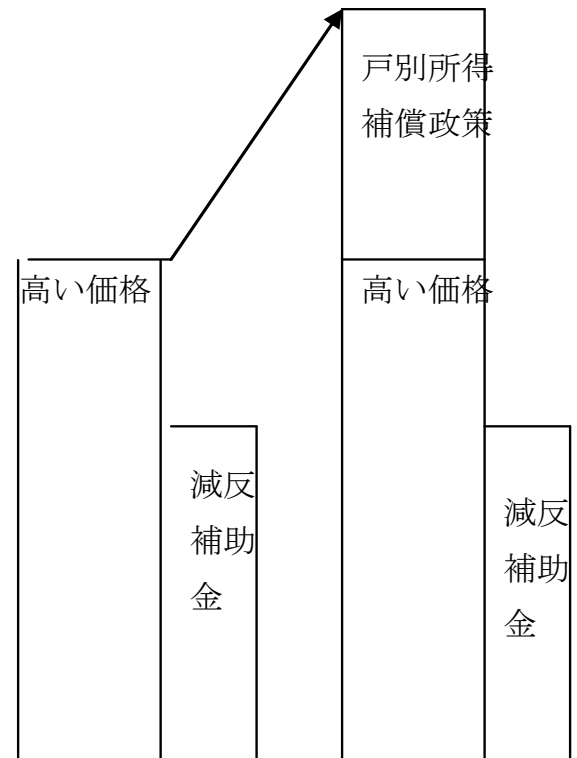
- ▶ 過剰処理を補助金で、日本は減産、EUは生産拡大・輸出
- ▶ 減反廃止で米の生産1700万トン～国内消費分700万トン、輸出1000万トン⇒米の自給率は243%。二毛作復活で麦生産3倍増。現在、食料自給率のうち米は20%、麦2%、残りが16%、
- ▶ 食料自給率は71% ($20\% \times 243\% + 2\% \times 3 + 16\%$)、目標の45%を大きく超える。
- ▶ 減反(転作)補助金3500億円が不要、備蓄の500億円不要、MA米の財政負担500億円不要、4500億円得をする
- ▶ 米価低下で影響が出る主業農家には、1500億円ほどの補てんで十分。
- ▶ 生産増加して財政負担減少

EUの農政改革と民主党の戸別所得補償の違い

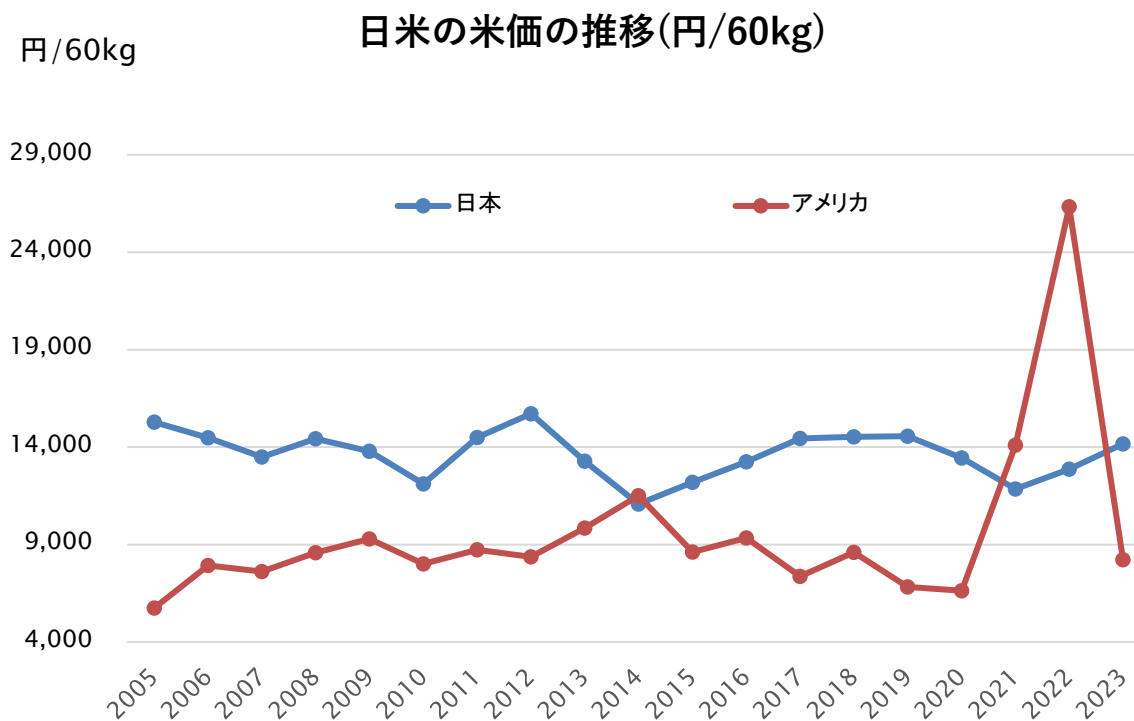
EU の農政改革



戸別所得補償政策



米の内外価格差は縮小・逆転

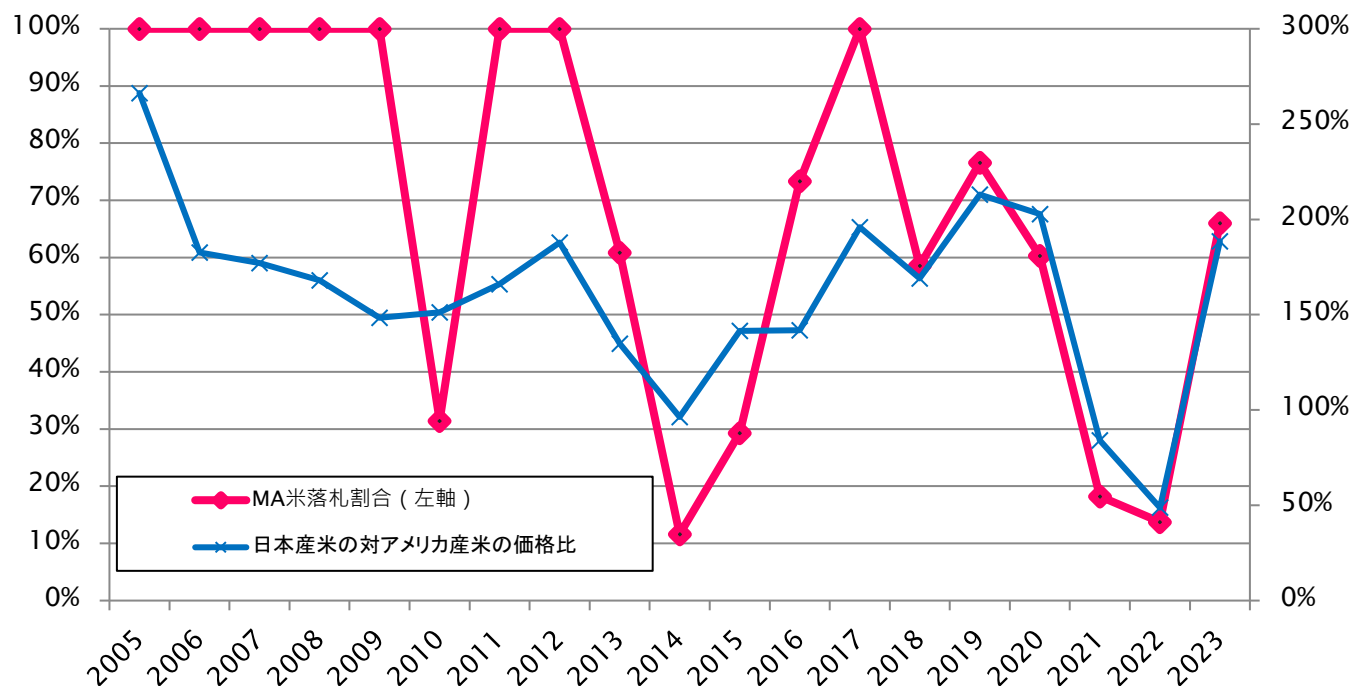


注: 日本・アメリカともに消費税を除いた価格を使用。

出所: 日本米については農林水産省「コメの相対取引価格・数量、契約・販売状況、民間在庫の推移等」 買入価格については、農林水産省「輸入米に係るSBSの結果概要」により筆者作成

輸入されないアメリカ米

MA米落札割合と日米米価格比率の推移



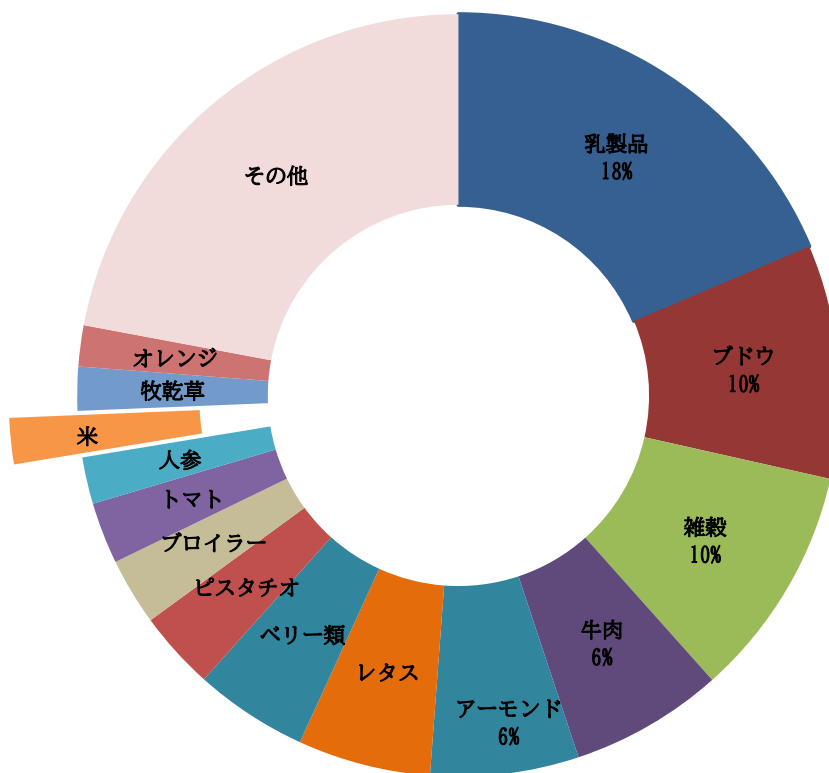
出所：MA米落札割合については、農林水産省「輸入米に係るSBSの結果の概要」、米価格比については農林水産省「米の相対取引価格・数量、契約・販売状況、民間在庫の推移等」と農林水産省「輸入米に係るSBSの結果概要」により筆者作成

注：2023年度はアメリカ産うるち米短粒種の落札がないため、中粒種の値を使用

カリフォルニア州農業生産額内訳



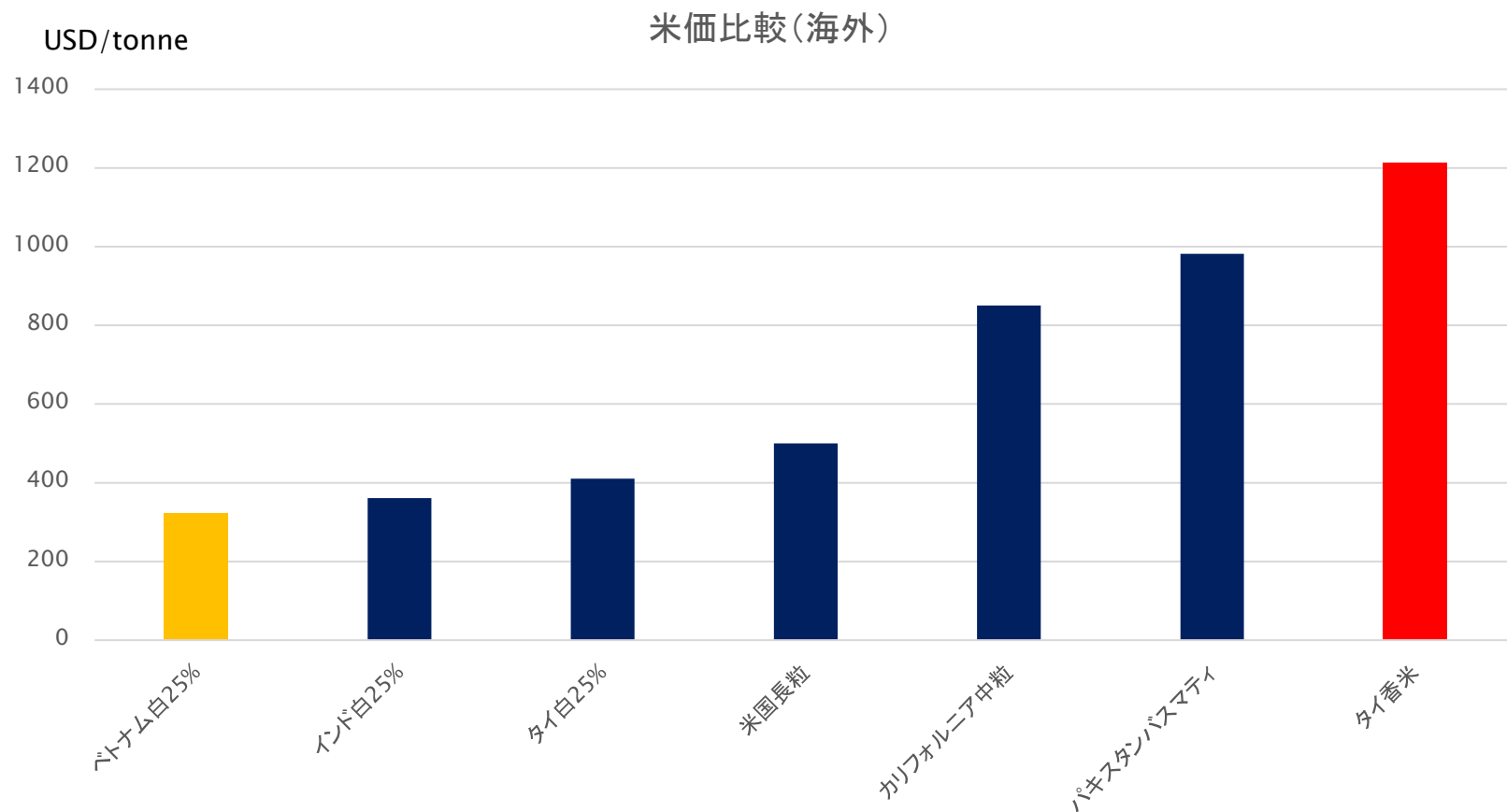
カリフォルニア州農業生産額内訳(2023)



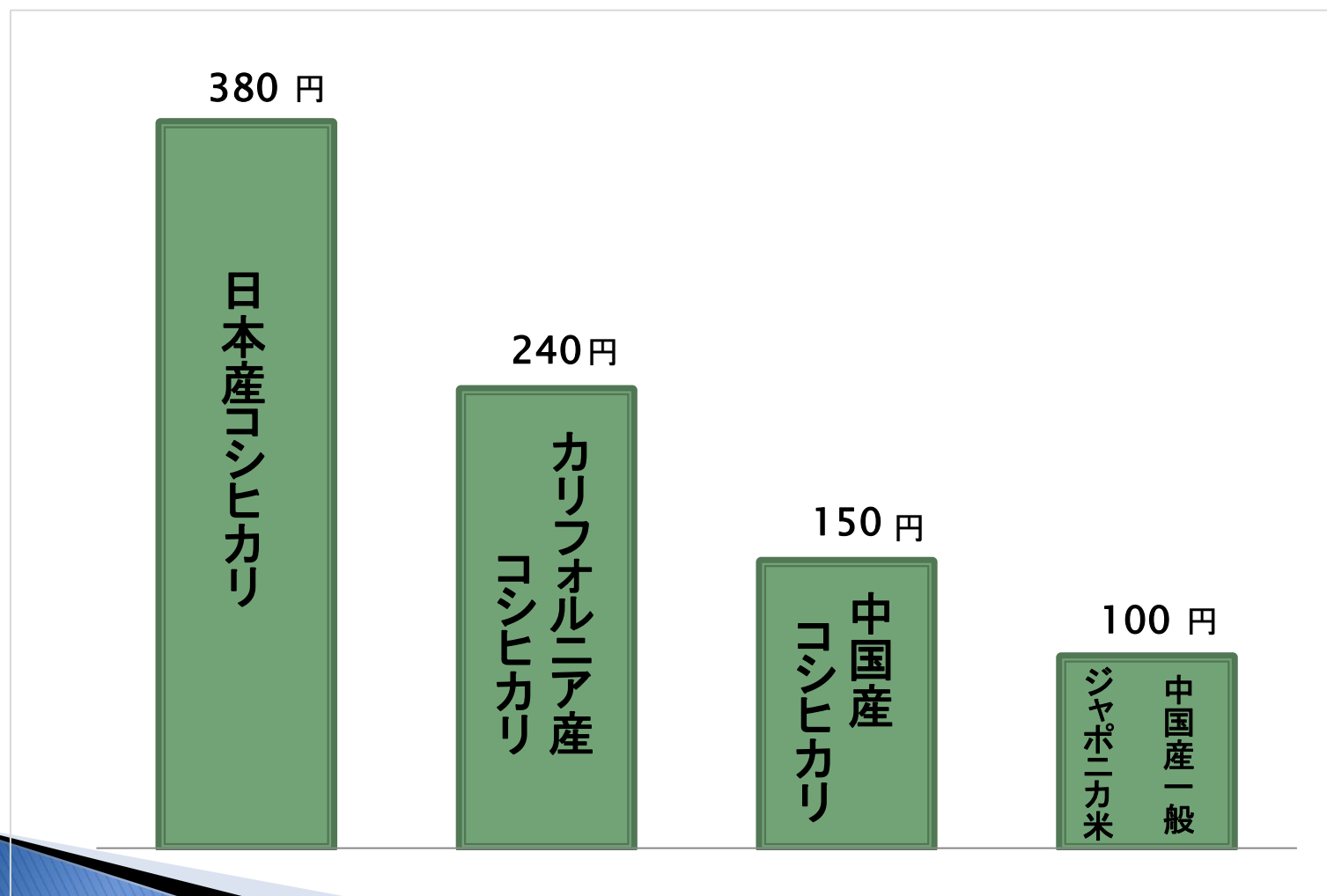
出所: CDFA "California Agricultural Production Statistics"

米という商品はない！（海外編）

～ベンツと軽自動車は同じ自動車ではない

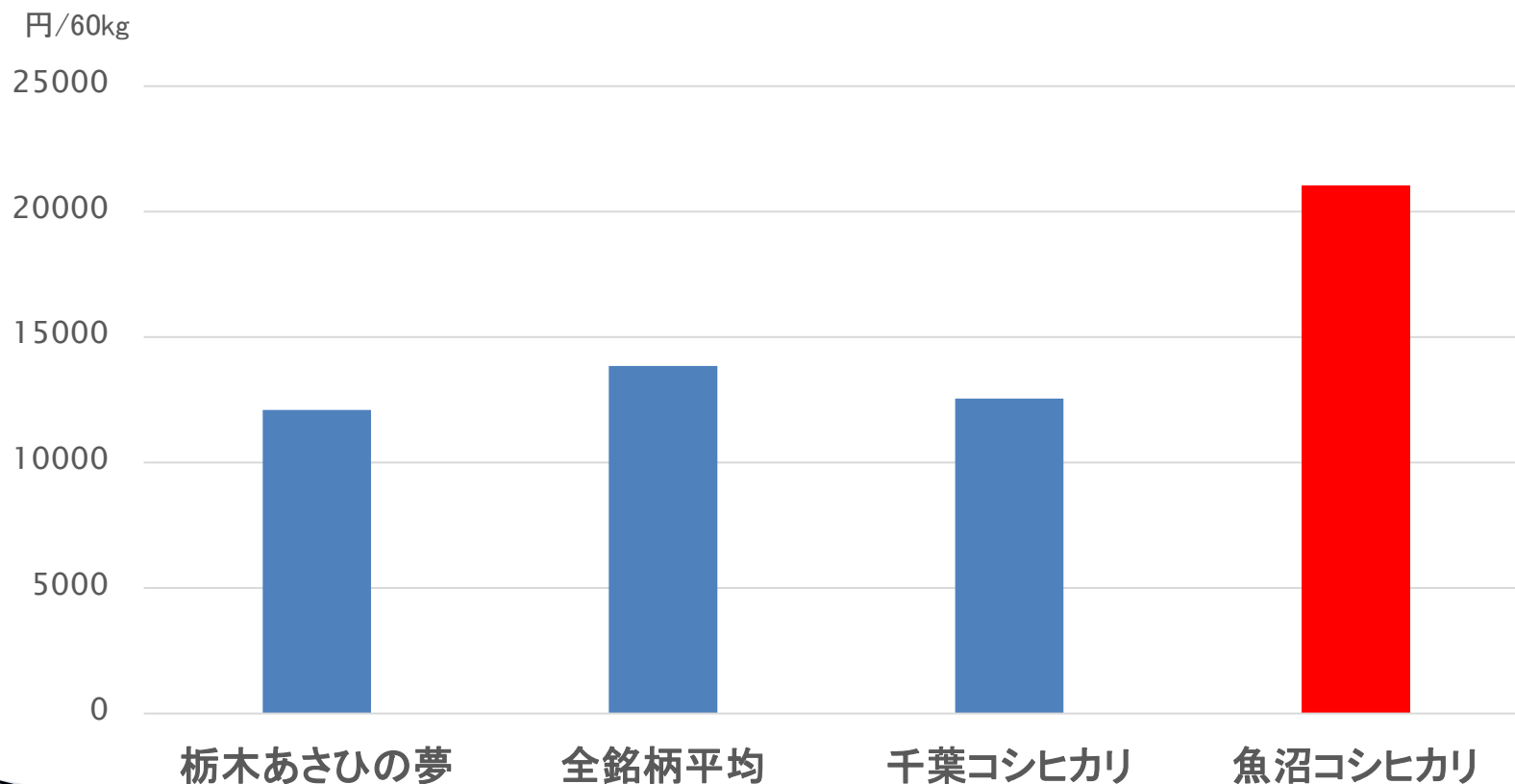


香港でのコメ評価（1 k g あたり）



国内米価

米価比較(国内)



出所: 農林水産省「米に関するマンスリーレポート価格編」2024.01
注: 価格は令和4年産を使用

対中輸出

- ▶ 中国市場1億6千万トンでは、ジャポニカ米の消費はほとんどなかったのに、電子炊飯器が日本から普及してから、これに向いている**ジャポニカ米の消費・生産はこの15年ほどの間に4割までシェアを増加**。
- ▶ ネット販売(2021年)で、1kg当たり、インディカ米3~9元、ジャポニカ米5~10元、中国産あきたこまち13~15元、日本米100元(1元=17円)
- ▶ 日本の米輸出にとって、中国は最も有望な市場。
- ▶ しかし、米での輸出を検疫を理由に制限。
- ▶ 他に、方法はないのか？

減反廃止＋直接支払いの効果



- 商社が減反廃止後価格 7 0 0 0 円で買い付け輸出に回すと**価格は輸出価格の 1 万 2 0 0 0 円まで上昇**。翌年の米生産は拡大。さらに**減反廃止による収量の高い米作付で、米生産は1700万トン以上、輸出は量で1000万トン、金額では2兆円**。
これだけで**政府の輸出目標達成&穀物貿易は黒字化**
- 主業農家に、現行 1 万 5 0 0 0 円と 1 万 2 0 0 0 円との差 **3 0 0 0 円を補てん**、対象数量は生産量の4割300万トン、**所要額1 5 0 0 億円**。現在減反に納税者（財政）が負担している**3500億円＋備蓄米500億円＝4,000億円を大幅に下回る**。

柳田國男の理想とした農業



まことに斯邦の前程につきて、表情憂苦の禁ずるあたわざるものあればなり。全篇数万語散漫にしてなお意を尽くすことを得ず。しかれども言わんと欲するところ要するに左のごときのみ。……

農をもって安全にしてかつ快活なる一職業となすことは、目下の急務にしてさらに帝国の基礎を強固にするの道なり。『**日本は農国なり**』という語をして農業の繁栄する国という意味ならしめよ。困窮する過小農の充満する国といふ意味ならしむるなかれ。ただかくのごときのみ。

(中農養成策)

柳田國男の自助 & 頼もしい若手



- ▶ 世に小慈善家なる者ありて、しばしば叫びて曰く、**小民救済せざるべからずと。予を以て見れば是れ甚だしく彼等を侮蔑するの語なり。**予は乃ち答えて曰わんとす。

何ぞ彼等をして自ら済わしめざると。自力、進歩協同相助是、実に産業組合（協同組合）の大主眼なり

- ▶ 2014年米価低下、ある女性農業者は、
「**弱音を吐いて誰かに助けを求めているようでは、農業は人から憧れられるような職業にならない。**」

参考文献

- ▶ 「コメ高騰の深層」宝島社
- ▶ 「食料安全保障の研究～襲い来る食糧途絶にどう備えるか」日本経済新聞出版、2024年
- ▶ 「国民のための『食と農』の授業」日本経済新聞出版、2022年